

調査項目「農とみどりのまちづくり」について

1. はじめに

本市において山間・山麓部のみどりは市街地の美しい背景となり良好な都市景観を形成している。しかし、様々な理由で維持管理が行き届かず荒れた山林が増えつつある。また、市街地のみどりも近年の都市化の進行に伴い、農地やため池なども減少している。「みどり溢れる箕面」を次世代に継承するためにも「みどりの保全・創出」は必然的課題である。そのような動機から、当委員会は、公園や街路樹などのまちなかのみどりや豊かな田園風景を守り育てることを目的とする支援策の調査・研究活動を実施した。

2. 調査経過

日 時	活 動	概 要
R 8. 2. 5 R 8. 2. 6	視 察	1・愛知県田原市 「農業施策」について 2・愛知県豊橋市 「アグリミートアップ」について
R 8. 5. 1 1	分野別意見交換会	「都市農業と市民参加」の未来像をテーマに箕面市農業 経営者連絡者協議会と意見交換を実施
R 8. 5. 1 5 R 8. 5. 1 6	地域別意見交換会	「農とみどりのまちづくり」をテーマにグループ討議形 式での市民との意見交換

3. 調査報告と提案

今回の調査・研究活動では農業支援のあるべき姿を考察した。

田原市への視察では農業施策について理解を深め、本市の今後の農業施策のあるべき姿を考察する一助となった。また、豊橋市では、同市で実施する「アグリミートアップ」によるスタートアップ企業と農業者のマッチング及びスマート農業技術の実証支援の取組を学び、本市における農業課題解決や新たな農業施策を学んだ。

先進自治体への視察先（田原市、豊橋市）においても本市と同様、担い手不足、担い手の育成が最大の課題であった。

箕面市農業経営者連絡協議会との意見交換では、「農家支援」「市民理解」「食育」「地産地消」「行政の具体的支援」をどのように進めるか。農業のみで生計を営めるような環境づくりが今後の重要な課題であると感じた。

本市においては、箕面市農業公社による地産地消の推進と就農希望者の支援など全国的にもユニークな取組を実施している。この取組をさらに拡大すべきと考える。

4. おわりに

農地・農業体験・直売所などの「農」を計画的に生かす取組の重要性を今回の調査・研究活動を通して改めて認識した。また、これらを地道に継続することで、景観保全、防災、教育、交流、地産地消の推進など、多面的な機能を有するまちづくりが図れるものと確信した。

提案でも述べたように本市においては箕面市農業公社がこの役割を担っているが、さらなる発展を期待し、調査・研究活動の所感としたい。